

# 謹賀新年

## 2020

### 新春対談

第1弾

武雄市長  
小松政

相撲  
東島翔  
ひがしま しょう

バントワーリング  
久保柚葉  
くぼ ゆずは

テコンドー  
山口遥叶  
やまぐち はるか

相撲  
元村康誠  
もとむら こうせい

スポーツの年

## スポーツのチカラ。

## ワンチームで武雄に元気を。

### スポーツの年

明けましておめでとうございます。毎年、その年のテーマを決めて新春対談を行っています。今年は東京オリンピック・パラリンピックが開催され、令和5年には佐賀で国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会があり、まさにスポーツが盛り上がる年だということで、スポーツをテーマにしました。

また、令和元年8月豪雨により被災した武雄市。復旧は進むものの今もなお、傷跡が残っています。そんな時だからこそ、スポーツを通じて元気を届けたい、若い皆さんの頑張りを市民の方に伝えたいと思い、若いスポーツマンの4名の方にお集まりいただきました。

災害の話を出しましたが、特に北方町は甚大な被害を受けました。北方相撲クラブの皆さんは大丈夫でしたか？

相撲場は無事だったので、自分を含め数名の自宅が浸水しました。うちは家の中でも膝ぐらいまで水が来て大変でした。しばらくは家の片付けの手伝いなどで練習はできませんでしたが、でも、クラブの部員同士で片付けなどを助け合ったので、チームワークは深まったと思います。↓

### 今のスポーツとの出会い

今回、集まっていたいただいた皆さんは決して身近なスポーツばかりではないと思います。それぞれのきっかけは何でしょう。

私は10年前に、市報に載っていた写真でたまたまバトンのメンバー募集のお知らせを見つけたのがきっかけです。見学に行くと、とても楽しく、お姉さんたちがバトンを回しているのを見てすごいなと思いました。

小学校2年生の頃、体を動かしたくて空手がテコンドーで悩みました。見学した時、テコンドーの方が元気で楽しそうだなと思ったのが始めたきっかけです。

友達に保育園の頃から誘われていたんですが、その頃はまだ遊びたくて。小学校6年生の時に、相撲部には友達から誘われて相撲クラブの見学に行き、思いっきりやれるような感じが自分に合っているのかと思いつけました。

相撲クラブの松尾監督が経営されている店に家族で食べに行つたときに監督に誘われました。見学に行ってみて、気づいたらまわしを付けて勝負していました。↓

### 感謝と尊敬

きっかけは様々ですが、出会いが重なり、その結果が今の皆さんにつながっているんですね。私も「なんで僕が市長になれたんだろう？」と思った時に、偶然というか、出会いが重なっていったと思うと、本当に感謝すべきところですね。

今度は、皆さんが感謝している人や尊敬している人を聞いてみたいと思います。

感謝している人は、親と監督とチームメイトです。尊敬する人は、琴奨菊関です。琴奨菊関のがぶつて寄っていく力強い相撲が自分は好きです。

私が感謝しているのは、学校の友達と両親と先生です。いつも私がすることを応援してくれます。尊敬しているのは、同じテコンドーをしている高校3年生の先輩です。蹴りの威力が強いところや落ち着いて試合ができるところが尊敬しています。

私が感謝している人は、いつもご指導してくださる安武先生や、チームメンバー、サポートしてくれる家族です。尊敬している人は、坂本龍馬です。もともと好きだったんですが、中学↓

2年生で2連覇した時の作品のテーマが坂本龍馬で、幕末の壮大な改革を恐れずに行った龍馬のように私も恐れず、ひるまず、前に進んでいこうと思っています。

感謝している人は、両親です。もしお父さんとお母さんがいなかったら、相撲をしていないと思うからです。尊敬する人は先輩たちと監督です。

なるほど。今の環境を支えてくれている方たちの姿が想像できます。尊敬する人を目標に、いつまでも感謝の気持ちをお忘れずにいてください。

テコンドー

山口遥叶

第3回全国少年少女選抜テコンドー選手権大会カデット女子47kg級に出場し準優勝。

HARUKA YAMAGUCHI